

Syllabus Id	051034
Subject Id	0514701
作成年月日	050111
授業科目名	データベースシステム[DBMS] Database Management System
担当教員名	大澤和夫
対象クラス	制御情報工学科5年
単位数	1高専単位
必修/選択	必修
開講時期	後期
授業区分	
授業形態	講義(演習含む)
実施場所	講義棟2F S 5HR、情報センター演習室

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

コンピュータが出現する以前より、記録・ファイル・資料・文献等々の形で資料室または図書室等に蓄積されていた情報をコンピュータで取り扱えるようにしたものをデータといい、これを処理するプログラムとは切り離して、データを独立させたものをデータベースといいます。このデータベースから抽出した必要なデータすなわち情報の

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

主要教科目でない場合には形式自由

マイクロシステムのアクセス、エクセル等MS-Access MS-excel

学習・教育目標	Weight	目標	
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成

学習・教育目標の達成度検査

データの効率の良いデータベースへの登録、更新、加工方法についてSQL言語をとおしてひとつのアプリケーションの操作法を演習しながらデータベースを体験させデータ処理の具体的な操作による結果をファイル登録できる。

授業目標

主要教科目でない場合には形式自由

コンピュータが出現する以前より、記録・ファイル・資料・文献等々の形で資料室または図書室等に蓄積されていた情報をコンピュータで取り扱えるようにしたものをデータといい、これを処理するプログラムとは切り離して、データを独立させたものをデータベースといいます。このデータベースから抽出した必要なデータすなわち情報の加工、処理方法の仕組みを理解できる。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	後期オリエンテーション	データベースとは何か	
第2回		1. データ管理こそデータベースの要件	
第3回		2. データベース管理システム(DBMS)	
第4回		3. データベースの操作	
第5回		4. 重要な機能	
第6回		RDBMSの基礎	
第7回		1. データベースの歴史	
第8回		2. スキーマ定義	
第9回		3. E-R図	
第8回		SQLの基礎知識	
第9回		1. SQLについて	
		2. SQLプログラミングの準備(テーブルの新規作成)	

